

# コマツ コミュニケーション レポート

## KOMATSU COMMUNICATION REPORT

激動する時代、メーカーはどのようにこの変化に挑み、取り組んでいるのか。コマツの製品をお使いのユーザーの方々をレポートしてご紹介いたします。今回は、品質の高さ、技術力の高さはもちろん、丁寧な対応によりメーカー各社より高い信頼を得ている、山梨県東八千代郡一宮町の株式会社松下製作所様にお話をお伺いしました。



**Vol. 12** 精密プレス金型、治工具、設計・製作及び  
精密プレス部品加工メーカー

### 株式会社 松下製作所

本社 〒405-0077 山梨県東八千代郡一宮町坪井1985-1 TEL.0553-47-3711

山梨工場 〒405-0006 山梨県山梨市小原西1016番地 TEL.0553-23-0123

松下製作所 タイ工場 KORT MATSUSHITA CO.,LTD. 88/1 MOO 1 NAGLANG SUNGNOEN NAKHON RAJSIMA 30380 THAILAND TEL.001-66-44-253722

創業 1959(昭和34)年5月 代表取締役社長 松下 慶磨 資本金 2,000万円

トップに聞く。

『お客様の要請に応え社会に役立つ  
品質の優れた製品を作り、仕事を愛し、  
常に感謝の気持ちを忘れず俊敏に行動する。』



代表取締役社長 松下 慶磨 氏

●現在、多くのメーカーより受注されている状況とお聞きします。まずは、この業界に入られたきっかけをお聞かせください。

昭和35年か36年頃の話ですが、もともとある会社の企画部門にしまして、工場の増設を担当しプレス機械の選定から金型の手配までを行っていました。

その当時、プレス機械が20万円位なのに比べて、小さな金型が同じ20万円するのに驚きました。あまり金型を作っている所がなかった時代です。それでぜひこの技術を身につけたいと思い金型の会社に入社したのがプレス業界に入ったきっかけです。

当時は就職難の時代でしたので、技術があるということは何と素晴らしいのかと実感しました。

また当社は先代社長が1959(昭和34)年創業いたしまして、昭和50年代前半まではカメラ及び時計などの精密部品を手掛けていました。

その後は事務関連の絞りパーツ等を主に手掛けています。昭和61年に私が社長に就任して現在に至っております。

●メーカーの要求には必ず応えるというその基盤にあるものはなんですか。

私は出身が鹿児島でして、小さい頃から「悩むより行動してみる、失敗したらやり直せばいいじゃないか」と教えられてきました。このチャレンジ精神が常に根底にあります。

また、社内に西郷隆盛が書いたといわれている『敬天愛人』の書を掲げているのですが、この言葉も理想としております。天を敬い、人を愛し、いつも人に助けて頂いているという気持ちを忘れずに元気で、やる気があり、常に夢を持って行動することを大切にしています。

●座右の銘である『敬天愛人』



## 現場を捉える。

最良の品質を追求したモノづくり。

工場では徹底した品質管理と原価低減意識を持ち、社員全員が一丸となって仕事に取り組んでいる。

さらにメーカーの信頼に応えるための積極的な技術革新も推進している。



●金型工場

- 現在どのような商品を扱っておられるのですか。

まず金型は自社で製造しています。その中の3割は外販をしています。

商品はOA機器関連がメインで、プリンタの機構部品、紙送りの部分などの精密部品です。

もともと時計などの精密部品を製造しており、どんな細かいものを受注しても対応できるという自信がありましたので、その基礎技術をもとにつねに前向きな開発を行っています。



●治具研削盤



●自社製金型



- 御社の目標として『特長づけ』ということを大切にされているとお聞きしていますが。

プレス加工には、半導体関係の高速プレス加工や、複合プレス加工、絞りや鍛造などさまざまな種類がありますが、そのなかのどの分野を目指すのが大切です。

特定の分野でトップになった企業が必ず伸びています。

自分たちの得意なものは何なのか、自社の特長がはっきりしないと売り込めませんし、また他社と同じものを造っていてもしょうがない。コストだけの競争になってしまいますからね。

自社の特長づけを明確に打ち出し、当社独自の技術を買ってくれるメーカーとお付き合いさせていただく、というのが理想です。



●三次元測定機



●タイ工場「コラートマツシタ」



●社員に徹底されている経営理念

- 人を育てることを第一に考えていらっしゃるようですが。

技術というものはやはり個人が持っているものなんです。その集合体が会社と考えています。

仕事がいただけるのはまず技術力。つぎに商品を買っていただくのは信用だと思っています。

お客様の納期通りに、必ず良いものを納品するという、個々の姿勢ですね。

それにはもし不良品が出たなら、できるだけすぐに原因を追究し社内の情報を収集してすぐに飛んでいけとっています。

誠心誠意愛情を込めて造った商品であれば必ずなんらかの原因が見つかるはずですからただお詫びするのではなくきちんと原因を追究するのが真のサービスと考えています。

自信をもってお客様の所へ出せるものを造ろう、という精神を一人一人が持ってほしいと願っています。

- なぜ海外(タイ)へ進出されたのですか。

もう随分前から日本では仕事がなくなっていくなと感じており、平成7年にタイに工場を作りました。

なぜここに決めたかといいますと、タイの国民性です。非常に倫理観がしっかりしています。

技術というのはそう簡単に移転できません。ものを教わろうとか、教わることありがたいといった姿勢が基本ないと企業に技術は蓄積されません。

その点タイの方はとても純粋ですし、大変良くやってくれています。ただ収益を上げるには、最低でも5年かかると思っています。

現地で松下製作所がタイに来てくれて本当によかったと思われて、初めて収益がでると考えています。



●タイ工場「コラートマツシタ」

## ●今回コマツL2Mを導入されたきっかけは、何でしょうか。

メーカーからこんな商品ができないかと注文があり、それにはこの機械がないと製造できないと判断して導入しました。順送加工による精密部品なのですが、国内ならば当社の技術力で普通のプレスでもなんとか加工できます。しかし海外へもっていくとなるとまだ技術的に無理なわけです。

プレスの精度が高くないと部品の精度は出せませんから、それには機械も良くなければいけないということで導入しました。



●今後の活躍が期待される、コマツL2M200

## ●貴社の今後の展開として、どのような点に力を入れていかれるのかお聞かせください。

何よりもまずはチャレンジ精神です。お客様からこういうものがないかといっていた時に絶対に断らないという姿勢、とことんまで開発するという事です。今や競争相手は完全にコストの低い海外ですから、そのためには社内で勉強会も開き、技術的な向上はもちろん、精神的な強さ、倫理的なものを身につけるようにしています。「お客様の求めているもの何か」「買う人の立場にたつてものを造る」というのが基本です。それに基づいて技術を磨くことをつねに忘れず商品開発をしていく、お客様の要求に十分応えられる企業でありたいと思っています。

最近日本のみならず海外を見て実感するのですが、やはり最終的には仕事は人で成り立っているということです。商売は絶対に人対人ですから、社員一人一人にこれからも積極的にチャレンジして欲しいと願っています。

## 製品紹介

## ■ 主要仕様

機種	L2M200/E2M200				L2M300/E2M300				L2M400/E2M400				L2M500/E2M500			
	NS	NL	WS	WL	NS	NL	WS	WL	NS	NL	WS	WL	NS	NL	WS	WL
仕様																
加圧能力	2000(200)				3000(300)				4000(400)				5000(500)			
能力発生位置	mm 6.5				6.5				6.5				6.5			
ストローク長さ	100	200	100	200	125	200	125	200	200	300	200	300	200	300	200	300
毎分ストローク数	spm 80-150 50-120 60-150 50-120				50-120 40-100 50-120 40-100				30-80 25-60 30-80 25-60				30-80 25-60 30-80 25-60			
ダイハイト	mm 475				550				700				700			
スライド調節量	mm 100				100				150				150			
スライド寸法(左右×前後)	mm 1550 X 850		1850 X 850		1850 X 900		2150 X 900		2150 X 1150		2450 X 1150		2150 X 1150		2450 X 1150	
ボルスタ寸法(左右×前後)	mm 1550 X 950		1850 X 950		1850 X 1000		2150 X 1000		2150 X 1250		2450 X 1250		2150 X 1250		2450 X 1250	
ボルスタ厚さ	mm 230				250				280				280			
サイドオープン	mm 890				940				1190				1190			
電動機	kW VS30				VS37				VS45				VS55			

お問い合わせは

コマツ産機株式会社 鍛圧KBU 企画グループ

〒140-0013 東京都品川区南大井 6-3-7 アーバンネット南大井ビル

TEL. 03-5561-2692 FAX. 03-5561-2877

## KTS-Net

コマツとお客様を結ぶ  
ネットコミュニケーション

KTS-Netとは、プレス機械を活用して革新的なプレス加工を追求されているユーザーの方々の集まりです。皆様の情報受発信の場として、是非ご利用ください。また今後もこの誌面でKT-Netのお客様をご紹介します。ご入会をご希望の方は、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。